

# みんなが創る！ みんなで守る！ かみすの医療しゅ



vol.3

## 企業・医療機関・ 行政連絡調整会議を設置



市では、企業・医療機関・行政の相互連携のための連絡調整機能を強化し、直面する課題解決策の検討や連携した取り組みの円滑な実施を図ることを目的に、神栖市企業・医療機関・行政連絡調整会議を設置しました。

11月15日に開催された第1回会議では、設置規約を制定し役員を選出しました。

市では、これまで市民一人ひとりから、まちづくり懇談会などを通じ意見を聴取する機会はありませんでした。



が、企業の皆さんと医療をテーマに直接協議する場はありませんでした。

今後は、当会議が市内各地区のコンビナートの代表企業と市内医療関係者、市や保健所

とが直接意見交換する場となります。

産業都市に必要な診療科や医療分野といった地域固有の医療需要について、情報共有や医療機関の取り組み、新興感染症発症時の危機管理への円滑な対応、あるいは市や医療機関の取り組みに対する企業の理解や協力などが促進されることが期待されます。

石田会長は「企業から、日本の東側の拠点として鹿島港を選んでもらうためには、医療体制の充実が大切です。そのためにも、この会議は非常に重要です。今後、地域医療体制の整備に向け、各委員の参加と協力をお願いします」と会議の中で要請しました。

### 第1回会議の協議事項

- 市内の医療の現状と取り組み状況について
- 企業が求める診療科と医療分野について
- 医療体制づくりへの企業の参加と協力について
- 産業医体制の充実について
- 看護職合同就職相談会(情報提供)



会議の詳細は次ページから

## 意見交換(抜粋)

**Q** 市内全体では救急搬送時間が短縮していることが分かりましたが、企業からの要請(労働災害が起こったとき)にかかる救急搬送時間、市内収容率についてデータがあれば教えてください。(企業・山下副会長)



救急搬送時間の短縮や収容率向上の目標設定はされていますか。(企業・山形委員)



**A** 救急搬送された原因ごとのデータの集計作業中です。この会議の進行管理のため、年度内に幹事会議を開催する予定があるため、それまでに整理して示したいです。またこれまでも、医療機関では不応需(救急受入お断り)の全事例の再検証などを行ない受け入れを強化しています。(行政・市)

神栖済生会病院では受入件数が大幅に増加しており、今年は2,000件以上の救急受入になる見込みです。(医療機関・中村委員)



**Q** 企業からは心療内科・精神科の充実の声が多くあります。社員が元気であることが企業の元気につながると思います。サポートの充実が図れるよう心療内科・精神科の体制強化をお願いしたいと思います。(企業・伊藤委員代理)



**A** 白十字総合病院では、今年度から発足した産業医トレーニングセンターの整備に併せ、産業医や臨床心理士を配置して精神的ケアを徐々に進めています。(医療機関・鈴木副会長)



市内で、専門医師の配置による心療内科クリニックの開業相談が寄せられており、市としても開業資金貸与制度の活用など積極的に相談に乗っています。(行政・市)

### 要望の多かった診療科

心療内科・精神科	7件
眼科	4件
耳鼻咽喉科	3件
皮膚科	3件
産科・婦人科	3件
整形外科	2件
外科	2件
内科	1件
歯科	1件

### 要望の多かった医療分野

救急医療	7件
労働災害への対応の充実	6件
通院にかかる送迎バス等の実施	2件
夜間診療の実施	2件
リハビリテーション	1件
診療所の誘致	1件
在宅医療の充実	1件
救急実施施設等の情報公開サービスの充実	1件
口腔外科の充実と情報共有	1件

(事前アンケートにより集計)

**Q** 今後の医師確保の見通しはいかがか。(企業・石川委員代理)

**A** 昨年度は、県の地域医療対策協議会に派遣を要望しましたが、残念ながら派遣には至りませんでした。今年度は、神栖済生会病院の呼吸器内科2人を含め、地域として4人を優先的に要望することとなっています。今後、県から各医科大学に対する派遣要望が出されるので、その回答に期待しています。(行政・緒方委員)



**医療機関からの意見**

この地域では健康診断の結果、治療が必要なのに関わらず受診していない人が多く見受けられます。来年度は産業医のスキルアップを目指し、5人の医師が赴任する予定です。その後も毎年5人ずつ新規の赴任を予定しており、養成期間を3年間とすると、今後は新たに15人の産業医がこの地域で活躍することになります。企業や従業員の皆さんに産業医を活用してもらい、神栖市を「健康産業都市」にしていきたいと思えます。(医療機関・田中委員)



**企業からの意見**

具体的な数字や詳細な説明により、実態をよく理解できました。また、行政や医療機関が懸命になって改善に向け努力していることも分かりました。企業も要望するだけでなく、協力できるよう努めていきます。(企業・鍋倉委員)



**委員名簿** [敬称略]

**企業**

- (株) ENEOSマテリアル  
鹿島工場長 **山下 豪哉** [副会長]
- (株) JERA  
鹿島火力発電所長 **山形 憲**
- JA東日本くみあい飼料(株)  
鹿島工場長 **網谷 悟**
- 日鉄大径鋼管(株)  
代表取締役社長 **中野 啓眞**  
※代理出席：伊藤氏
- (株) サン・ペトロケミカル  
取締役工場長 **鍋倉 浩三**
- (株) DG Technologies  
工場長 **齊藤 明久**  
※代理出席：石川氏

**医療機関**

- 鹿島医師会  
神栖支部長 **武藤 隆雄**
- 神栖済生会病院  
病院長 **中村 慶春**
- 白十字総合病院  
病院長 **鈴木 善作** [副会長]
- 東部地区健康管理クリニック  
診療所長 **本田 克也**  
※代理出席：植竹氏
- 神栖産業医トレーニングセンター  
統括指導医 **田中 完**

**行政**

- 潮来保健所長 **緒方 剛**
- 神栖市長 **石田 進** [会長]